



西南小の風

【校訓】明るく かしこく たくましく

学校教育目標：主体性と協働性を育み、夢の実現に挑戦する児童の育成

令和7年10月 3日
第 8号
文責 西村 英一

学校ボランティア大作戦実施中

現在、学校ボランティア大作戦を行っています。校門や中庭などの掃除をボランティア委員会が中心となって行っています。また、ボランティア活動に参加したい1年生から6年生までの有志児童も参加しています。

参加している子供たちは、校地内の落ち葉掃き、ゴミ拾い、草取り等を行っています。中には、溝さらいを一人でコツコツ行っている子供も見ます。作業が必要な場所を自分たちで見つけ、主体的に活動できています。おかげで、校地内がすっきりしています。



安心して見れます！ 登校の様子

9月24日、国道387号線付近の登校の様子を見て回りました。班長を先頭にして一列で歩く姿を見て、とても安心しました。また横断歩道では、横一列に並んで信号機が変わることを待ち、一斉に横断していました。お手本のような横断の仕方でした。

横断歩道には、地域の方が旗を持って立ってくださっていました。信号機がない細い道の十字路にも地域の方が旗を持って立ってくださっていました。地域の方々に改めて感謝いたします。いつもありがとうございます。



5年生の下駄箱の様子

整然と並んだクツ、整然と並んだ机とイス

校内を回っている際、下駄箱のクツに目がとまりました。どのクツのかかともきれいにそろっていました。また、帰りの会後に誰もいなくなった教室を見ると、子供たちの机とイスがきれいに並び、凜とした雰囲気を感じました。心を落ち着けて過ごすためには、環境を整えることも大切です。子供たちに整理整頓を大切にしようという意識が育ってきていると感じています。前期終業式を前に、様々な所で子供たちの成長を感じることができます。

「非認知能力」を高める関わり方2

「非認知能力」を高めることに有効な「体験」について紹介します。参考にされてください。

①「ヒマな時間を日々体験すること」で脳を活性化→創造性を育むことにつながるそうです。

1日10分でも「何もしない、ボーッとした時間」を作ると、その時間に創造性を育むことができるそうです。リラックスしている時（気持ちにゆとりがある時）にアイデアが浮かぶのはこの為だそうです。

空を眺める、緑のある景色を眺める、入浴する等がよいタイミングかもしれません。

②「体験での学びを整理する為に睡眠を確保」→記憶力・学習効率・セルフコントロール力が向上するそうです。

国が推奨する小学生の睡眠時間は9～12時間です。難しい場合、22時までには就寝するがおすすめだそうです。脳は睡眠中に1日の体験や学習を整理していきます。その為、十分な睡眠をとると「記憶力が向上する」「一晩寝たら嫌なことを忘れる」という現象が起きます。一方、睡眠不足はセルフコントロール力を弱めイライラしがちになります。記憶を司る「海馬」の成長にも十分な睡眠は必要だそうです。

③投資するなら「体験の機会」→創造性、学習意欲、自尊心が高まるそうです。

体験の思い出は繰り返し子供の心に蘇ります。そして自信につながるそうです。本物にさわったり見たりする体験、家族での旅行、夜空の観察、そして少々不便な体験等は、創造性や学習意欲、自尊心を高めるそうです。写真で見るより、本物を直接見た経験の方が心に残るのと同じです。